

岩手県感染症週報

平成25年第5週(1月28日～2月3日)

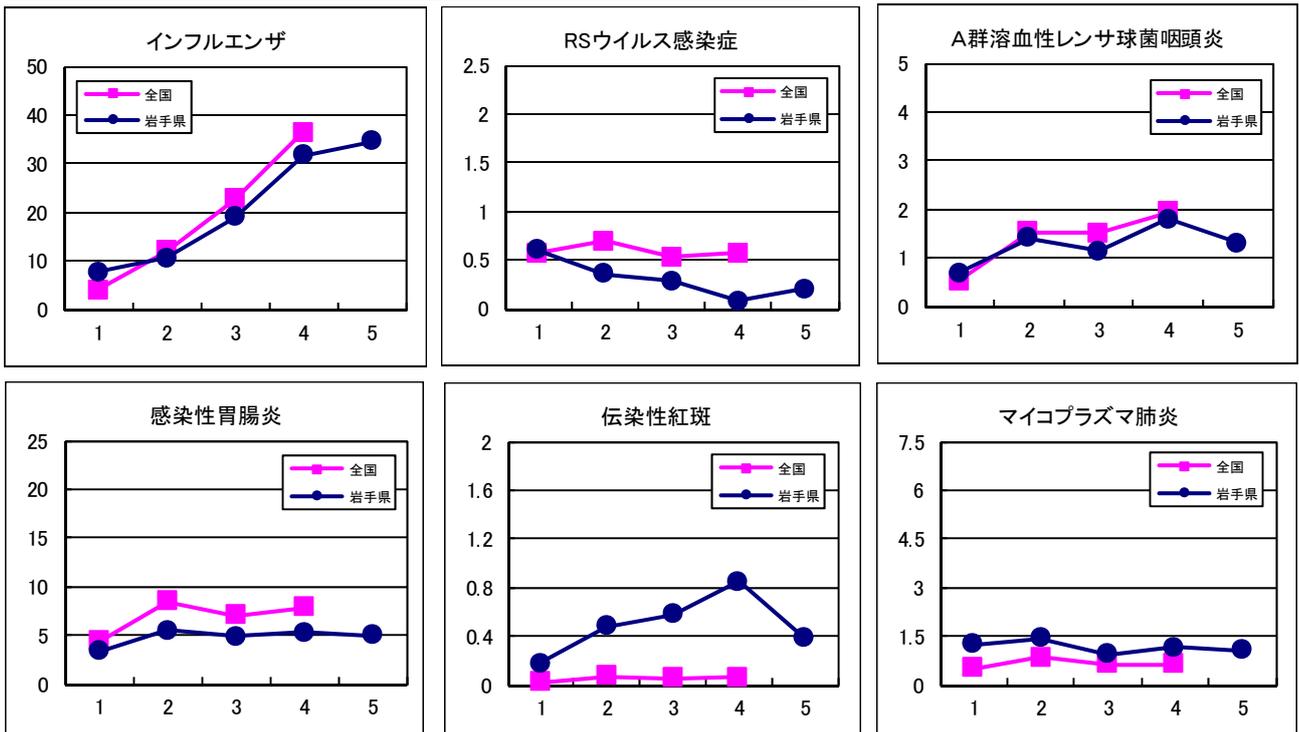
岩手県感染症情報センター

第5週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が3例(潜在性結核感染症例2例)ありました。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・急性脳炎の報告が1例ありました。原因病原体はインフルエンザウイルスで、患者は70歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・インフルエンザは、前週よりさらに増加しました。すべての地区で警報値(定点あたり患者数30人)か注意報値(同10人)を超えています。学校等の閉鎖措置の報告数も多く、本格的な流行となっています。予防には、咳・くしゃみなどの症状がある場合にはマスクをするなどの咳エチケット、外出後の手洗い、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた食事をする、人混みや繁華街への外出を控える(特に高齢の方、基礎疾患のある方、妊婦等)などが重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、やや減少しました。過去5年間の平均より低い状況で推移していますが、ノロウイルスによる老人福祉施設等での集団感染事例が発生しており、引き続き注意が必要です。予防には、石けんと流水による手洗いと、患者の便や吐物の適切な処理が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		1	2	3	4	5		
インフルエンザ	岩手県	7.63	10.55	18.88	31.63	34.58	↗	☆☆☆
	全国	3.91	12.07	22.58	36.44			
RSウイルス感染症	岩手県	0.6	0.35	0.28	0.08	0.2	→	☆
	全国	0.57	0.69	0.53	0.57			
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.08	0.15	0.15	0.05	→	
	全国	0.18	0.36	0.23	0.29			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.68	1.4	1.13	1.8	1.3	→	☆
	全国	0.53	1.53	1.51	1.94			
感染性胃腸炎	岩手県	3.35	5.48	4.85	5.28	4.98	→	☆
	全国	4.36	8.44	7.04	7.85			
水痘	岩手県	1.63	1.28	0.63	0.88	0.5	→	☆
	全国	1.67	1.92	1.12	1.34			
手足口病	岩手県	0.2	0.15	0.15	0.1	0.08	→	
	全国	0.13	0.16	0.19	0.18			
伝染性紅斑	岩手県	0.18	0.48	0.58	0.85	0.38	→	☆
	全国	0.02	0.07	0.05	0.06			
突発性発疹	岩手県	0.2	0.33	0.23	0.33	0.35	→	☆
	全国	0.19	0.5	0.46	0.45			
百日咳	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0.01			
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02			
流行性耳下腺炎	岩手県	0.63	1.05	0.88	0.63	0.85	→	☆
	全国	0.19	0.34	0.23	0.2			
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.07	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.02	0.02			
流行性角結膜炎	岩手県	0.64	0.43	0.5	0.5	0.21	→	☆
	全国	0.36	0.69	0.46	0.49			
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01			
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0.05	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02			
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.26	1.42	0.95	1.16	1.05	→	☆
	全国	0.52	0.83	0.62	0.63			
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.05	0.03	0.04			

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)		岩手県						全国	
疾病名	(週)	岩手県					累計	全国	
	1	2	3	4	5	4		累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	5 (2)	1 (1)	7 (3)	6 (1)	3 (2)	21 (9)	353	1395
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	6
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	11	36
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	3
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	5
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	3	19
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	4
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	16	54	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	1	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 1	2	3	4	5	累計	4	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	1	15	58
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	11
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	1	1	10	38
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	4	18
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	12	70
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	4
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	梅毒	0	0	0	0	0	0	14	59
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	9
	風しん	0	0	0	0	0	0	76	254
	麻しん	0	0	0	0	0	0	7	18

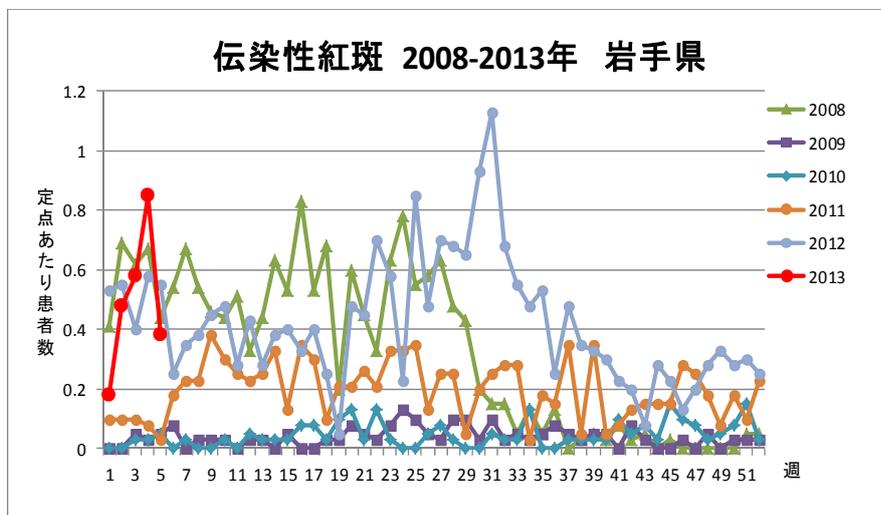
今注目の感染症

伝染性紅斑

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する流行性の発疹性の疾患です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」という俗名があります。

本疾患は、感染後10～20日で両頬の境界鮮明な紅斑が出現し、続いて四肢に両側性のレース状の紅斑が見られます。成人では、両頬の境界鮮明な紅斑は少なく、関節痛・頭痛が多く見られます。また、頬に発疹が出現する7～10日くらい前に、微熱や感冒様症状などの症状が見られる例がありますが、この時期にウイルス血症をおこしており、ウイルスの排泄量ももっとも多くなります。発疹が現れたときにはウイルス血症は終息しており、ウイルスの排泄はほとんどないので周囲への感染性はほとんどないといわれています。

岩手県では、年の初めから7月頃にかけて報告数が多く、9月頃から年末にかけては報告数が少なくなるという流行状況です。今年の第4週は過去5年間と比較して報告数が多くなりましたが、第5週には減少しました。



今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

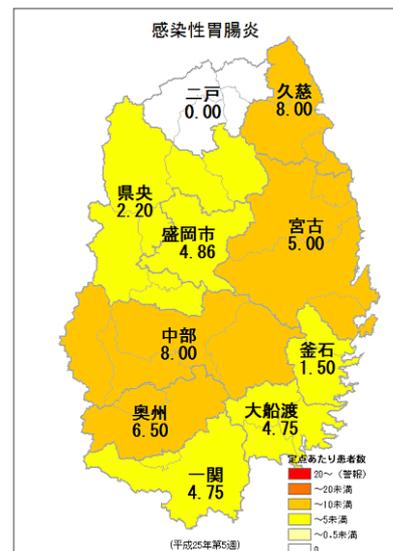
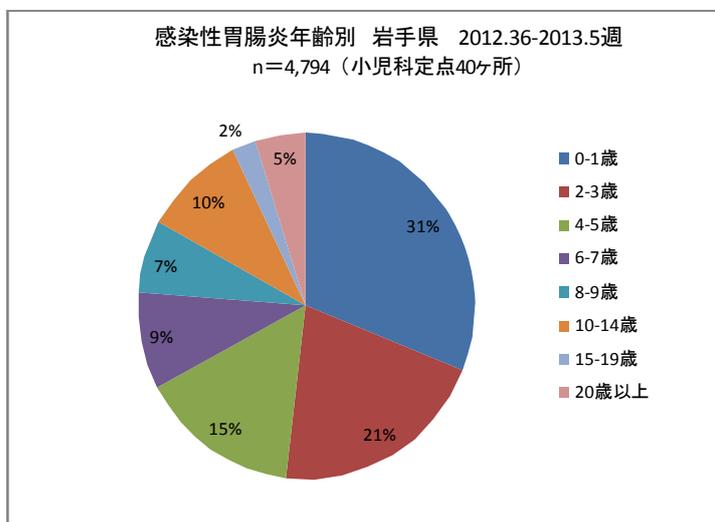
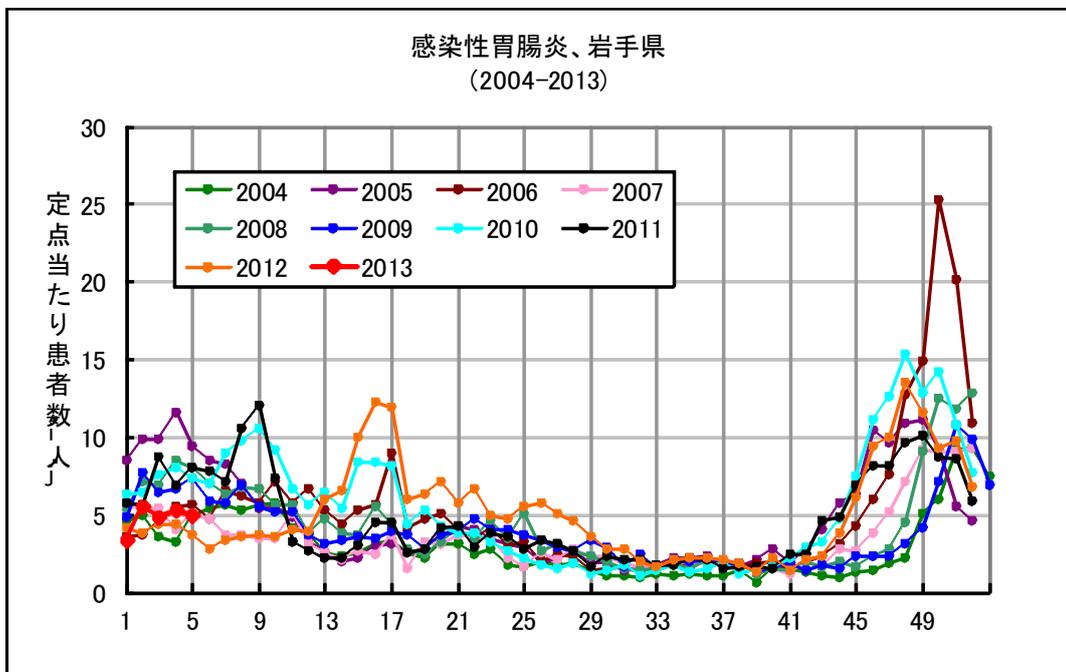
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因は、ノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では、患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

感染性胃腸炎の報告数は、例年11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を繰り返しています。流行の前半、感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられています。ノロウイルス感染症の症状は、嘔気・嘔吐および下痢で、症状持続期間は平均1～2日と比較的短く、重症化して長期にわたり入院を要することは少ないのですが、特効薬はなく治療も対症療法となります。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です。感染力が強いため、保育園や幼稚園、小学校等の集団生活施設において、集団発生を引き起こすことがあります。

予防には、流水と石けんを用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。

感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、
「医療従事者・施設スタッフ用」:<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>



今注目の感染症 (つづき)

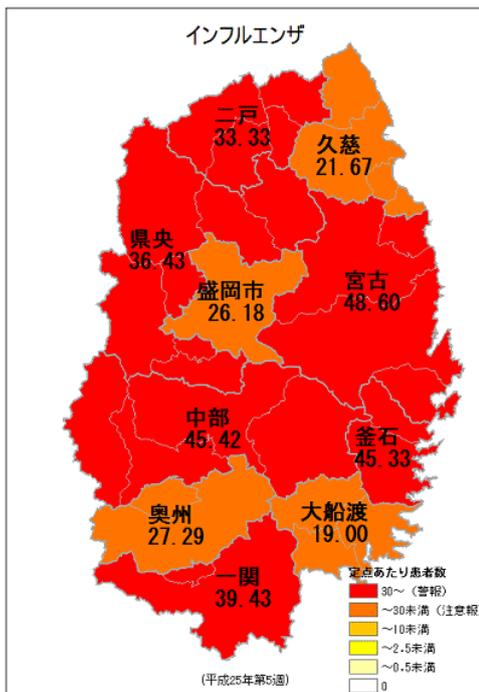
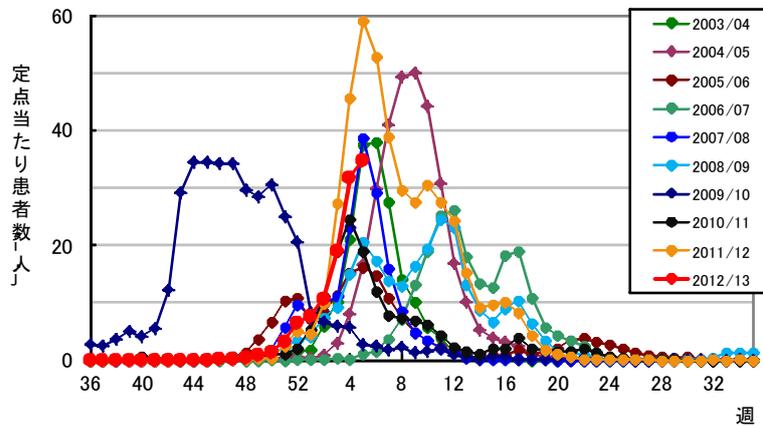
インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。潜伏期間は1～3日間で、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現れ、咳、鼻汁などの上気道炎症状が続きます。約1週間ほどで軽快するのが典型的な症状ですが、いわゆる「かぜ」にくらべて全身症状が強く、重くなりやすい疾患です。

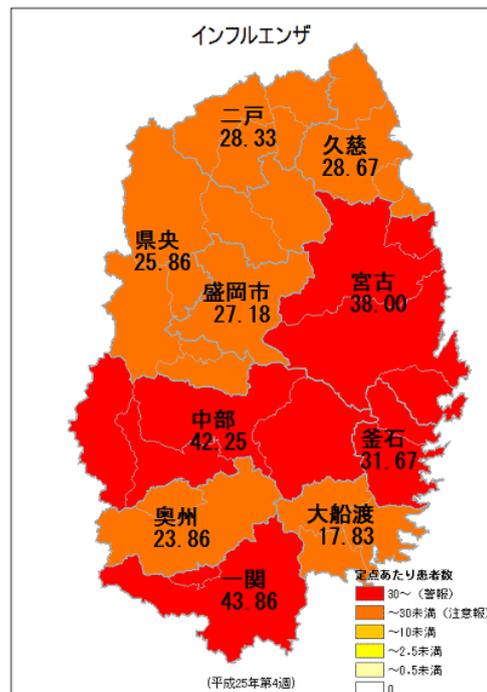
インフルエンザは例年、12月頃から流行が始まり、1月後半から2月初めにピークを迎えます。岩手県の今シーズンの発生状況ですが、第50週には流行の開始のためやすである定点あたり患者数1.0人を超えました。平成25年第2週には10.55人と注意報値(10人)を超え、第4週には31.63人と警報値を超えました。今後の感染拡大の動向に注意が必要です。

感染経路は、くしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による感染と、接触感染とされています。予防には、流行前のワクチン接種、流水・石けんによる手洗い、咳エチケット、湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などが重要です。なお、ワクチン接種による効果が出るまでに2週間ほどかかりますので、早めの接種が勧められます。

インフルエンザ、岩手県



第5週



第4週

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、A香港型インフルエンザウイルスを15件分離しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について（2月1日～2月6日発表分）

- ・雫石町内の養護老人ホーム（利用者数100名、職員数38名）
 - ・1月26日（土）から2月1日（金）にかけて10名（利用者18名）に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者4名中3名（利用者3名）からノロウイルスを確認
- ・奥州市内の介護老人保健施設（利用者数100名、職員数49）
 - ・1月28日（月）から2月5日（火）にかけて35名（利用者29名、職員6名）に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者10名中8名（利用者8名）からノロウイルスを確認
- ・遠野市内の障害者支援施設（利用者数56名、職員数45名）
 - ・1月31日（木）から2月6日（水）にかけて19名（利用者13名、職員6名）に症状（嘔吐、下痢等）
 - ・有症者3名中3名（利用者1名、職員2名）からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について（1月30日～2月6日）

- ・岩手県発表 45件
- ・盛岡市発表 13件

詳細は、岩手県医療推進課のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=4104&ik=1&pnp=3324&pnp=4104>

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

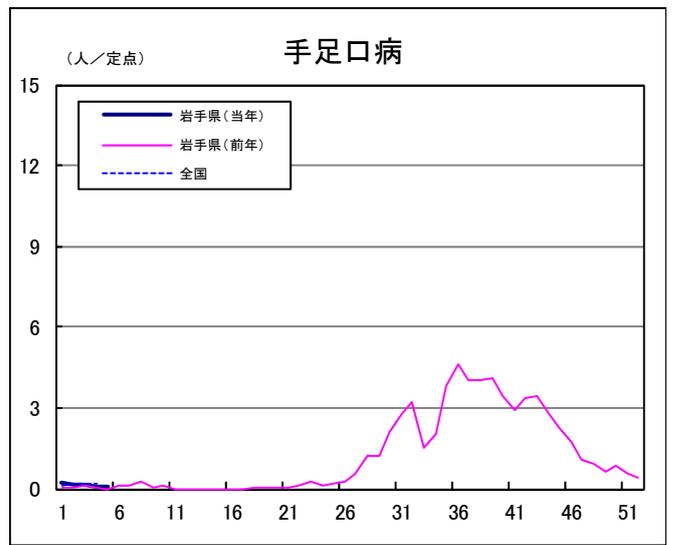
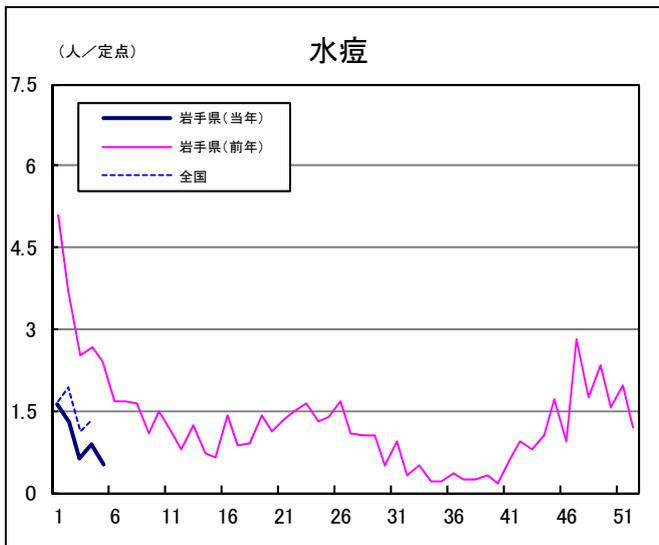
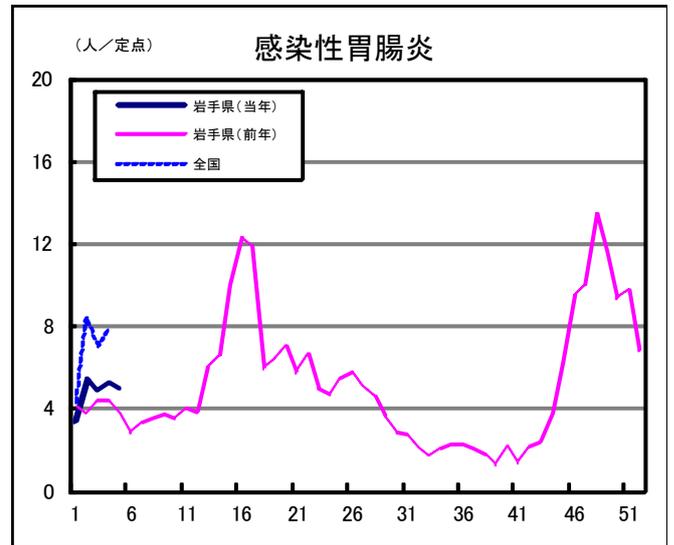
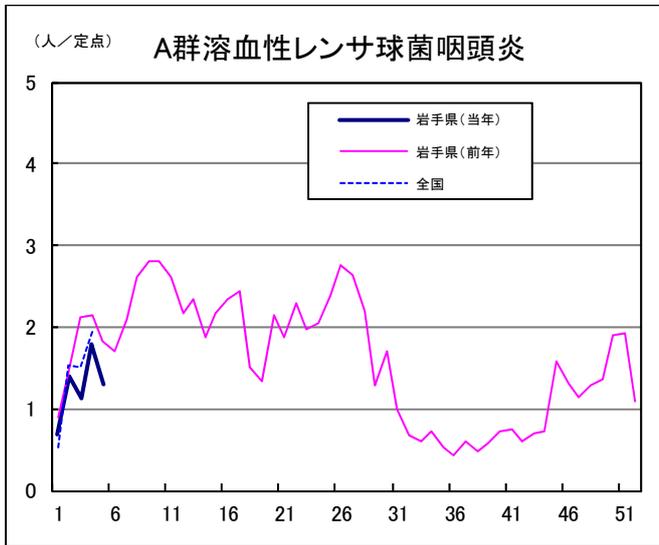
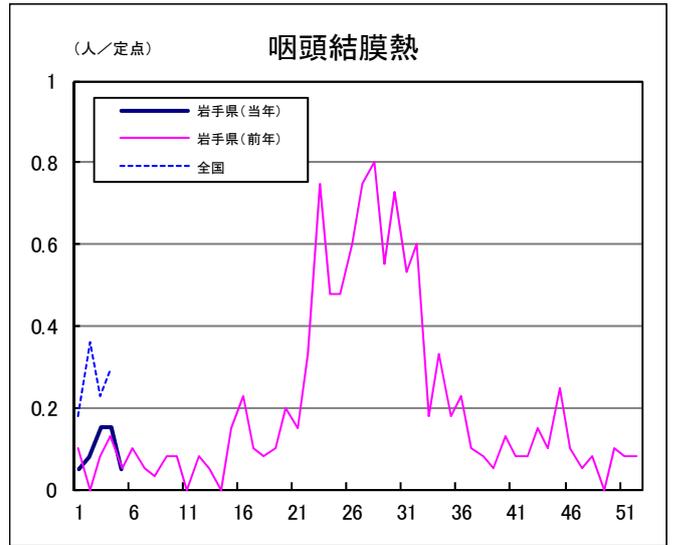
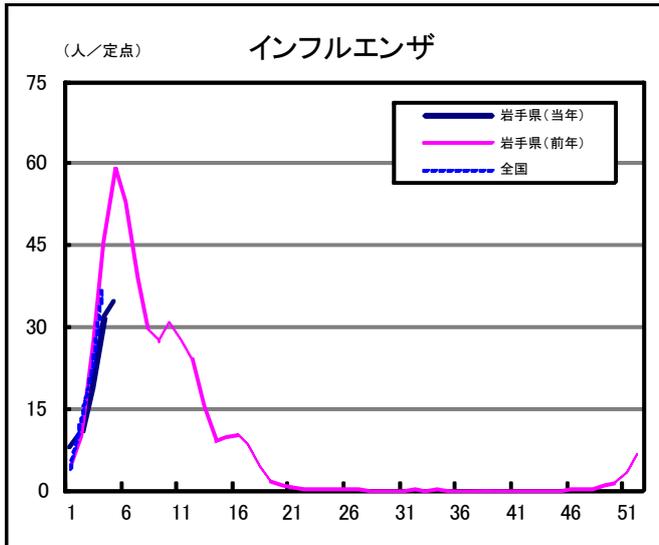
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

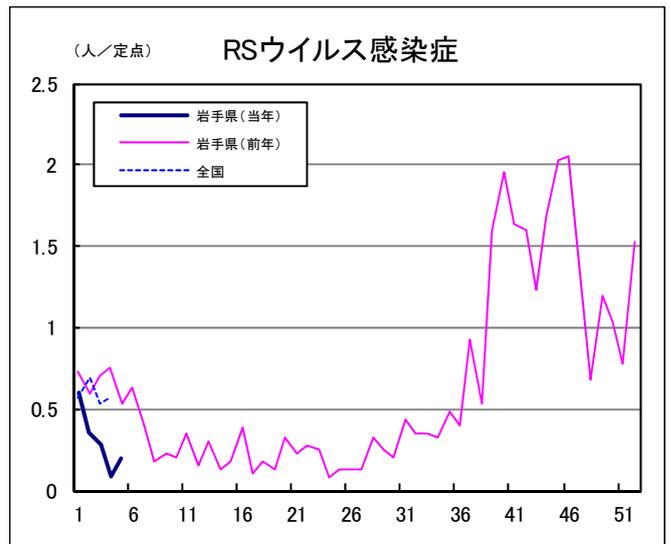
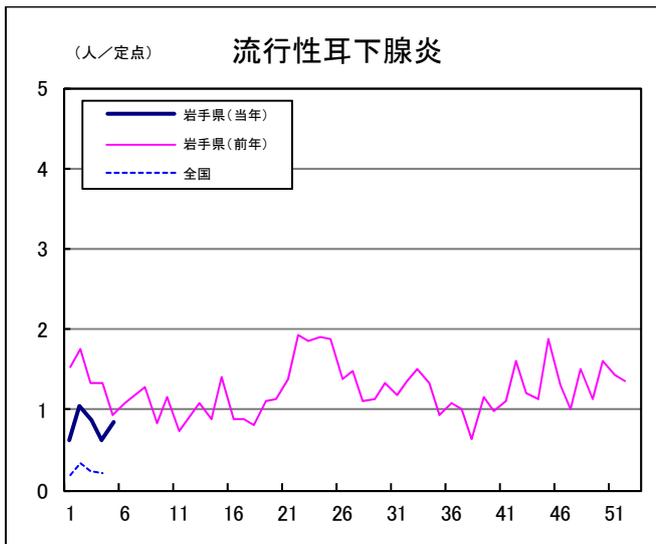
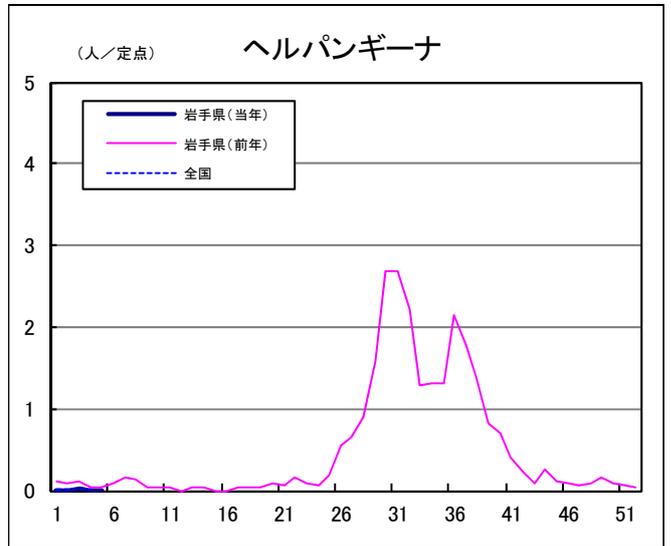
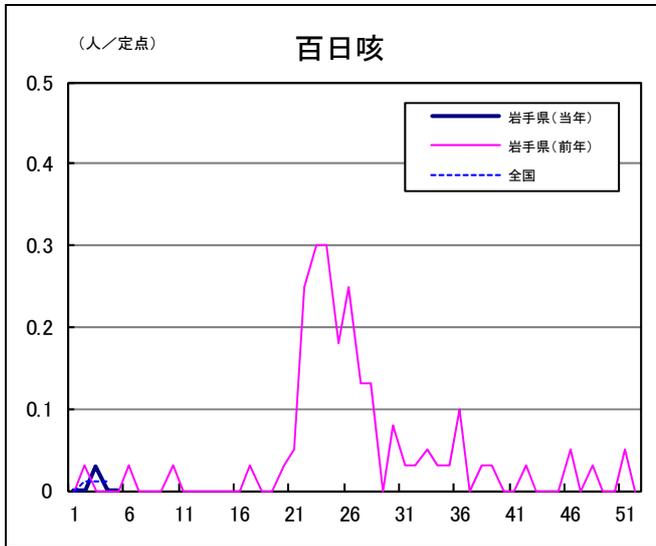
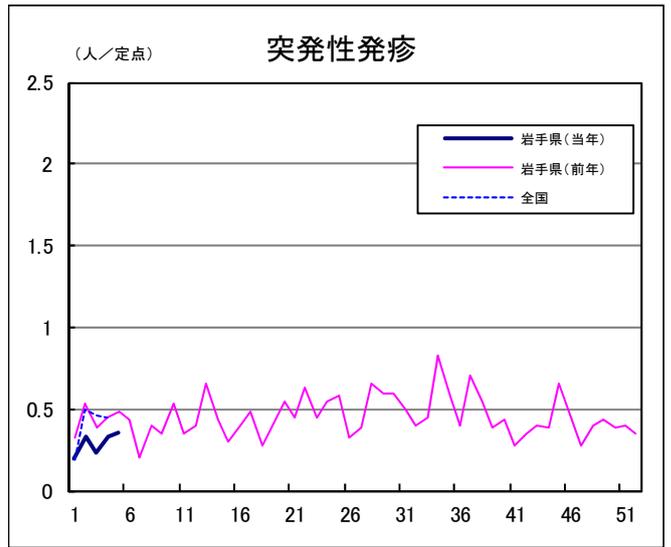
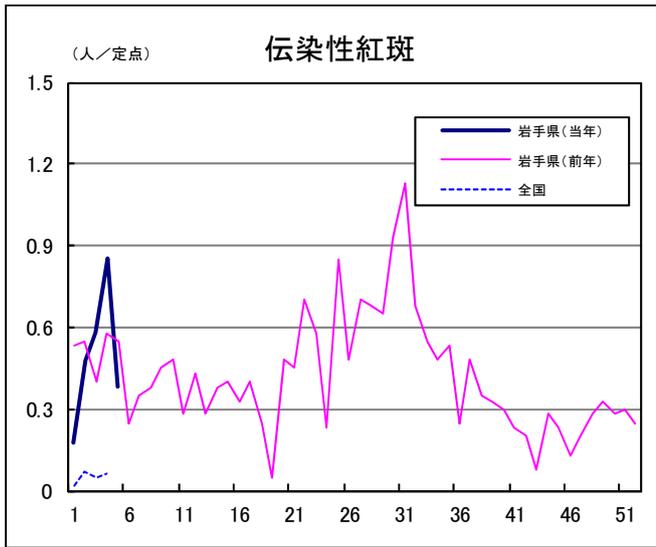
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

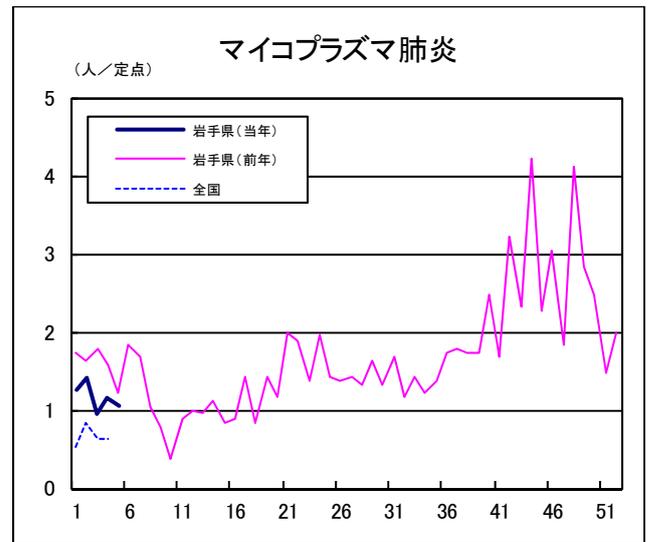
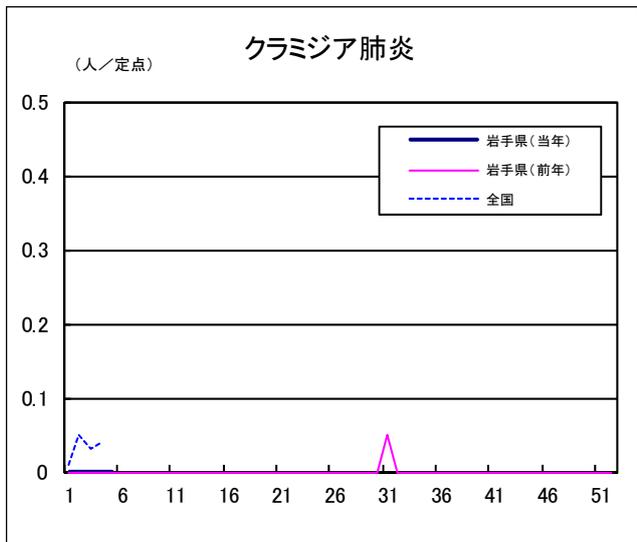
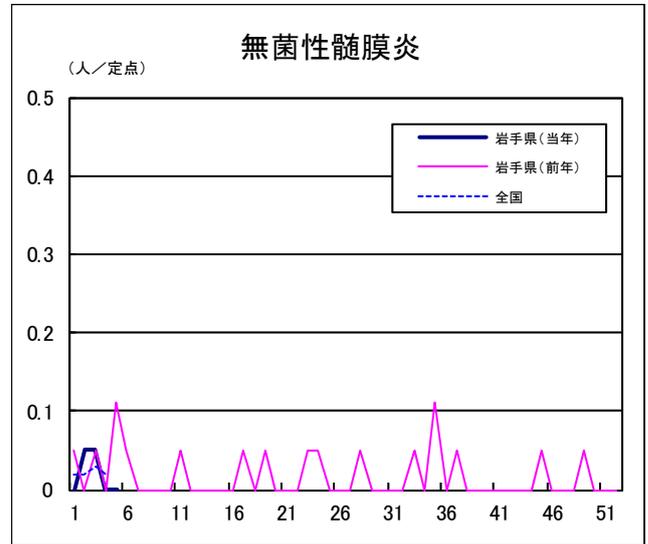
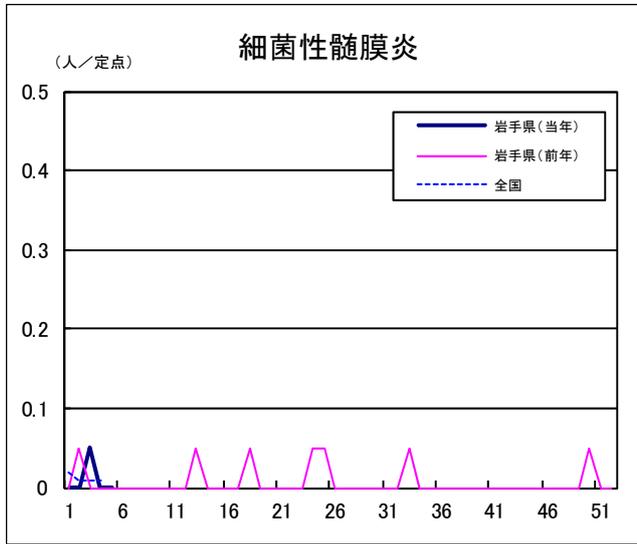
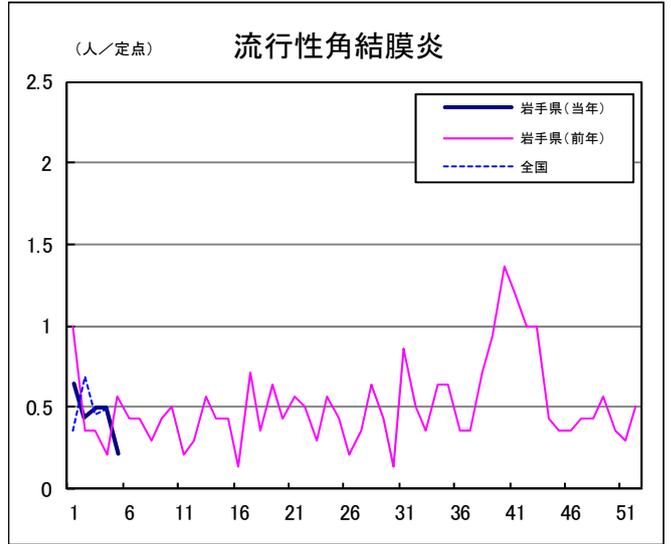
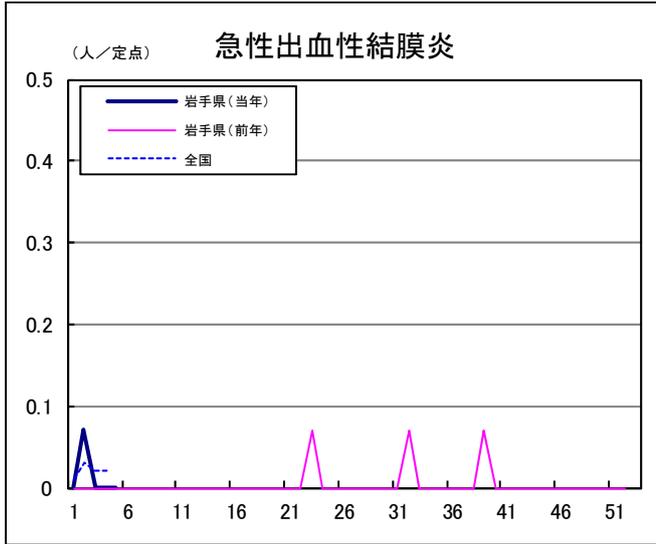
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成25年第5週 平成25年2月8日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>